

官報

號外

明治三十一年十二月七日

水曜日

印刷局

第十三回 貴族院議事速記第二號

帝國議會

明治三十一年十二月六日(火曜日)午前十時三十分開議

議事日程 第二號 明治三十一年十二月六日(火曜日)

午前十時開議

第一 公爵島津忠濟君、公爵毛利元昭君、侯爵醍醐忠順君、侯爵德川義禮君、子爵梅小路定行君、橋口兼三君、堀真五郎君請暇ノ件

第二 軍機保護法案(政府提出)

第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第四 臺灣陸軍軍法會議法案(政府提出)

第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第六 官吏遺族扶助法中改正法律案(政府提出)

第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第八 千葉縣茨城縣境界變更法律案(政府提出)

第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十 帝室御料ニ償金ノ一部ヲ編入スルノ建議案(公爵島津忠濟君、公爵毛利元昭君、侯爵醍醐忠順君、侯爵德川義禮君、子爵梅小路定行君、橋口兼三君、堀真五郎君請暇ノ件)

外二名發議

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(小原書記官朗讀)

昨五日政府提出明治二十九年法律第六十三號中改正法律案ヲ受領シタリ

右本日內務省所管事務政府委員被仰付候條此旨及通牒候也
內務省參與官 一木喜徳郎
內閣總理大臣侯爵山縣有朋

貴族院議長公爵近衛篤磨君

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ニ清浦奎吾君ヨリ第四部理事ヲ辭シタイト云フ
辭職ノ申出ガアリマシタ御異議ガナクバ許可致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ同君ノ辭任ハ許可スルコトニ致シマシテ四部ニ於テハ更ニ其補闕選舉ヲ行ハレンコトヲ希望致シマス、是ヨリ本部日程ニ移リマス、第一、公爵島津忠濟君疾病ニ附キ八十九日間、公爵毛利元昭君疾病ニ附キ五十日間、侯爵醍醐忠順君疾病ニ附キ八日間、侯爵德川義禮君疾病ニ附キ五週間、侯爵德川義禮君疾病ニ附キ二十一日間、子爵梅小路定行君事故ニ附キ三週間、橋口兼三君疾病ニ附キ五週間、堀真五郎君疾病ニ附キ當會

期間右ハ孰モ請暇デアリマスルガ許可致シテ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ許可致スコトニ致シマス

○侯爵黑田長成君 此際ニ議事日程ヲ變更ニナリマシテ帝室御料ニ償金ノ一部ヲ編入スルノ建議案會議ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○男爵西五辻文仲君 贊成

○小原重哉君 贊成

○子爵本莊壽巨君 贊成

(「贊成」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 黑田侯爵ヨリ議事日程變更ノ要求ガアリマスガ御異議ガナクバ變更致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ハ政府ノ承諾ヲ求メナケレバナリマセヌ……政府ノ承諾ヲ得マシタ、議事日程ハ變更ニナリマシテゴザイマス、帝室御料ニ償金ノ一部ヲ編入スルノ建議案、公爵二條基弘君外二名發議ノ議事ヲ開キマス

(小原書記官朗讀)

帝室御料ニ償金ノ一部ヲ編入スルノ建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治三十一年十二月三日

發議者

公爵 二條基弘

公爵 德川家達

侯爵 黑田長成

贊成者

侯爵 松平康莊

外四十四名

帝室御料ニ償金ノ一部ヲ編入スルノ建議

貴族院ハ明治二十七八年ノ戰役ニ由リ收得シタル償金ノ中金二千万圓ヲ帝室御料ニ編入ノ議ヲ奏請セラレムコトヲ望ム依テ茲ニ之ヲ建議ス

(侯爵黑田長成君演壇ニ登ル)

○侯爵黑田長成君 此建議案ニ就キマシテ一應説明ヲ致シマス前ニ此建議案ノ贊成者中ニ男爵千家尊福君トアリマスノハ高橋新吉君ノ誤植デアリマスカラ、此段ヲ申上ゲテ置キマス、此建議案ニ就キマシテ我々三名ノ者ハ定規ノ

貴族院議事速記第二號 明治三十一年十二月六日

議長ノ報告 理事辭職ノ件 議員請暇ノ件 議事日程變更ノ件 帝室御料ニ償金ノ一部ヲ編入スルノ建議案 會議

贊成ヲ得テ發議ヲ致シマシタノデアリマスガ、私ガ此建議案ノ趣旨ヲ唯今說
明ヲ致スノハ誠ニ自ラ幸榮ナ次第デアルト存ジマスル譯デゴザイマス、回顧
スシマスレバ彼ノ明治二十七八年ノ戰役ハ實ニ我國家ニ於テ千古ノ快事デア
ルト存ジマス、此戰役ノ結果トシテ我國威ヲ發揚致シ、又是ガタメニ我帝國ノ
地位ヲ一層高メマシテ海外諸邦ヲシテ益々我國ヲ畏敬スルヤウニ致サセマシ
タノハ素ヨリ喋々ヲ須ヒナイ次第デ明ナ事實デアラウト思ヒマス、斯ノ如キ
光輝アル戰捷ノ結果ヲ得マシタノハ外征ノ諸將カ身命ヲ捨テ、勇武ヲ奮ヒ又
内ニ在ッテハ舉國ノ臣民ガ十分ナル敵愾心ヲ起シテ致シタカラデハアリマス
ケレドモ畏クモ 今上陛下ノ曠世ノ御威德ニ由リマセネバ到底斯ノ如キ好結
果ヲ收ムルコトハ難イト信ジマスル次第デアリマス、然ルニ清國ヨリ得マシ
タ所ノ償金モ最早今日ニ於テハ完納ニナリ當時ノ事局モ終結ヲ告ゲマシタノ
デアリマスカラ本員等ハ帝室ノ御料中ニ償金ノ内金二千萬圓ヲ編入致シテサ
ウシテ此光輝アル所ノ戰捷ノ紀念トシテ舉國臣民ノ誠意ヲ現シタイト存ズル
次第デゴザイマス、ソレデ何卒滿場ノ諸君此建議案ニ贊同セラレテ本建議案
ガ速ニ可決ニナリマスルヤウニ偏ニ希望ヲ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 別段ニ御發議モナイヤウデゴザイマスカラ採決ヲ
致シマス、本建議案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔總員起立〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 滿場一致ト認メマス、本案ハ可決ニナリマシタ、
軍機保護法案、政府提出、第一讀會

〔小原書記官朗讀〕

軍機保護法案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十一年十二月三日

內閣總理大臣侯爵山縣有朋

陸軍大臣子爵桂 太郎

海軍大臣 山本權兵衛

司法大臣 清浦奎吾

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

軍機保護法

第一條 勳員出師國防其ノ他軍事上秘密ヲ要スル事項又ハ圖書物件ヲ探知
收集シタル者ハ重懲役ニ處シ其ノ情輕キ者ハ一等ヲ減ス

第二條 職務ニ因リ軍事上秘密ヲ要スル事項又ハ圖書物件ヲ知得領有シタ
ル者之ヲ他人ニ漏洩交付シ若ハ之ヲ公示シタルトキハ有期徒刑ニ處ス

第三條 偶然ノ原由ニ因リ軍事上秘密ヲ要スル事項又ハ圖書物件ヲ知得領
有シタル者之ヲ他人ニ傳説交付シ若ハ之ヲ公示シタルトキハ輕懲役ニ處
ス

第四條 許可ヲ得スシテ軍港要港防禦港又ハ堡壘砲臺水雷衛所其ノ他國防
ノ爲建設シタル諸般ノ防禦營造物ヲ測量摸寫攝影シ又ハ其ノ狀況ヲ錄取
シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上三百圓以下ノ
罰金ニ處ス

因テ第一條ノ罪ヲ犯シタル者ハ一ノ重キニ從テ處斷ス

第五條 許可ヲ得ス又ハ詐偽ノ所爲ニ因リ許可ヲ得テ堡壘砲臺水雷衛所其
ノ他國防ノ爲建設シタル諸般ノ防禦營造物内ニ入りタル者亦前條ノ例ニ
同シ

第六條 本法ニ規定シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ未遂犯罪
ノ例ニ照シテ處斷ス

第七條 本法ノ罪ヲ犯シテ其ノ豫備ヲ爲シタル者ハ同條ノ刑ニ照シ二等
又ハ三等ヲ減ス

第八條 本法ハ刑法第二編第二章第二節外患ニ關スル罪陸軍刑法第二編第
一章反亂ノ罪海軍刑法第二編第一章反亂ノ罪ニ關スル規定ノ效力ヲ妨ケ
ス

(政府委員中村雄次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(中村雄次郎君) 國防事業ノ追々整備致シマスル今日、軍事上秘
密ノ漏洩ヲ防ギマスルコト云フコトハ、實ニ緊要ナル事柄デアリマス、故ニ第
十二議會ニ軍機保護法案ヲ提出致シマシテ、御協賛ヲ求メマシタ次第デゴザ
イマスガ、遂ニ協賛ヲ經ルノ運ビニ至リマセヌデゴザイマシタ、故ニ今回更
ニ本案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス、何卒御協賛アラントヲ希望致
シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御發議ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審
査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○伯爵大原重朝君 右法案ノ特別委員ハ議長ノ選定ヲ希望致シマス

○子爵小笠原壽長君 贊成

○子爵山本實庸君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 議長委託ノ勳議ガ出マシテ贊成ガアリマスガ御異
議ガナクバ左様致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 臺灣陸軍軍法會議法案政府提出第一讀會

(小原書記官朗讀)

臺灣陸軍軍法會議法案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十一年十二月三日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋
陸軍大臣子爵桂 太郎

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

臺灣陸軍軍法會議

第一條 臺灣ニ陸軍軍法會議ヲ設ク

第二條 臺灣陸軍軍法會議ハ臺灣及澎湖列島ヲ以テ管轄ト爲シ其ノ構成權

限及治罪ニ關スル諸般ノ手續ハ陸軍治罪法師管軍法會議ノ例ニ依ル

第三條 臺灣總督ハ臺灣陸軍軍法會議ニ關シ師團長ノ師管軍法會議ニ於ケ

ルト同一ノ職權ヲ有ス

第四條 臺灣總督府陸軍幕僚副官ハ陸軍檢察ニ關シ陸軍治罪法第三十一條

ノ諸官ニ同シ

(政府委員中村雄次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(中村雄次郎君) 現時臺灣ニ於キマスル所ノ軍法會議ハ明治二十八年勅令第九十二號ニ依リマシテ設ケラレタル所ノ臨時陸軍軍法會議デゴザイマス、然ルニ臺灣ノ事情今日ハ臨時陸軍軍法會議ヲ設ケ置キマスル必要ハゴザイマセヌ、故ニ此臨時軍法會議ヲ廢シマシテ更ニ普通ノ軍法會議ヲ設ケント致シマスルニ陸軍治罪法ニ於キマシテハ臺灣ノ如キ師管ヲ爲シマセヌ所ノ地ニ平時陸軍軍法會議ヲ設ケマスルト云フコトハ其規定ガゴザイマセヌ故ニ平時ニ於テ設ケルコトガ出來マセヌデゴザイマス、依テ本案ヲ提出致シマシテ御協賛ヲ請ヒマスル次第デゴザイマス、是レ亦何卒御協賛アラシコトヲ冀望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御發議ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○子爵高野宗順君 本案ノ特別委員モ議長ニ於テ選定アラシコトヲ冀望致シマス、然ルニ前ノ軍機保護法案ト同一ノ委員ニ付託セラレタ方ガ便宜デアラウト考ヘマスカラドウゾ左様……

○伯爵大原重朝君 贊成

○子爵立花種恭君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 高野子爵ノ動議ハ前ノ軍機保護法案ト同一委員ニ付託スルト云フ動議デゴザイマス、御異議ガナクバ其通致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ其通ニ致シマス、官吏遺族扶助法中改正法律案政府提出、第一讀會

(小原書記官朗讀)

官吏遺族扶助法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十一年十二月三日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋
大藏大臣伯爵松方正義
內務大臣侯爵西鄉從道
陸軍大臣子爵桂 太郎
文部大臣伯爵樺山資紀
外務大臣子爵青木周藏
逓信大臣子爵芳川顯正
海軍大臣 山本權兵衛
司法大臣 清浦奎吾
農商務大臣 曾禰荒助

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

官吏遺族扶助法第三條第二項左ノ通改正ス

郡書記ヲ除クノ外政府ヨリ俸給ヲ受ケサル官吏及商業ヲ營ムコトヲ得ヘキ官吏ハ第二條ノ納金ヲ要セス

附則

此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

(政府委員松平正直君演壇ニ登ル)

○政府委員(松平正直君) 本案ヲ提出シマスニ附キマシテチヨット一言申述べテ置キマス、本案ハ「郡書記ヲ除クノ外」斯ウ云フ一言ノ改正デ全ク此法ノ不備ヲ補フニ止リマシタ次第ノコトデ實ハ是マデ郡書記ニ就イテハ遺族ノ扶助料ノアルベキハ誠ニ事實ニ於テアリタメニ本日マデヤリ得マセナヌダノデ自然ソコマデ法律ノ範圍ガ及シテナイタメニ本日マデヤリ得マセナヌダノデ自然流行病等ノコトニ就イテ或ハ不幸ニ際シマシタ如キニハ誠ニ遺憾ナ感ヲ生シマス次第デゴザイマス、依ッテ今般僅ニ「郡書記ヲ除ク外」ト云フ此三四字ヲ加ヘマシテ始テ國恩均霑ノ郡書記ニ及ビマスト云フ次第デゴザイマスカラドウゾ御協賛アラシコトヲ希望致シマス、一言……

○小原重哉君 政府委員ニ少シ質問致シタイト思ヒマス、ソレハ此改正案ノ趣旨ハ大ニ贊同スル所デゴザイマスガ現行法ニハ「商業ヲ營ムコトヲ得ヘキ官吏並ニ高等官試補云々」トゴザイマスノデ此改正案ニ於キマシテハ之ヲ省キマシテゴザイマスルノハ何カ省カレマシタ理由ガアラウト思ヒマス、本員

ガ竊カニ考ヘマスルニハ當夏ノ官制改正ノ上ヨリ胚胎シ來ツテ此文ガ省イテアラウト考ヘマスルノデ之ヲ一應心得ノタメニ伺ツテ置キタイ

○政府委員(松平正直君) チョット此席デ述べマス唯今ノ御尋ハ……………

○小原重哉君 現行法ノ第三案ノ即チ第二項ノ改正デゴザイマスコトハ此案ニ在ル通デゴザイマスガ現行法ニハ「商業ヲ營ムコトヲ得ヘキ官吏竝ニ高等官試補云々」トゴザイマスガ此改正案ニハ「郡書記ヲ除ク外」トアル是ハ改正ノ文デゴザイマスガ現行法ニ在ル所ノ文ヲ見マスレバ「政府ヨリ俸給ヲ受ケサル官吏及商業ヲ營ムコトヲ得ヘキ」ツレカラ、官吏茲ニ「高等官試補判任官見習ノ俸給及兼官ニ依ツテ受クル加俸ニ對シテ第二條ノ納金ヲ要セス」ト斯ウアル所カラ竝ニト云フ以下ガ全クゴザイマセヌノデ少シ解シ難イカラツレヲ御尋スルノデゴザイマス

○政府委員(松平正直君) 元ノ通ト心得テ居リマシタ

○政府委員(松平正直君) 是ハ其郡書記ヲ除クノ外ハアトノ改正ノコトハナイト心得テ居リマシタ、謂ガ疎漏デ誠ニ何デゴザイマスガ又能ク調ベテ御答ヲ致シマス

〔演壇デ願ヒマス〕ト呼フ者アリ

○政府委員(松平正直君) 別段御異議ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○男爵中川與長君 本案ノ特別委員ハ議長ニ於テ選定サレシコトヲ希望致シマス

○子爵小笠原壽長君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 議長委託ノ動議ガアリマスガ御異議ガナクバ其通致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 千葉縣茨城縣境界變更法律案、政府提出、第一讀會

(小原書記官朗讀)

千葉縣茨城縣境界變更法律案

一 千葉縣下總國東葛飾郡二川村大字新田戸ノ内大字桐ヶ作ノ内中利根川以北ヲ茨城縣下總國猿島郡森戸村ニ編入ス

二 千葉縣下總國東葛飾郡二川村大字古布内ノ内中利根川以北及千葉縣下總國猿島郡水間ヶ瀬村大字木間ヶ瀬ノ内中利根川以北ヲ茨城縣下總國猿島郡長須村ニ編入ス

三 千葉縣下總國東葛飾郡我孫子町大字青山ノ内中利根川以北ヲ茨城縣下總國北相馬郡取手町ニ編入ス

四 千葉縣下總國東葛飾郡布佐町大字布佐ノ内下利根川以北ヲ茨城縣下總國北相馬郡布川町ニ編入ス

五 千葉縣下總國香取郡金江津村下利根川ヲ茨城縣常陸國稻敷郡ニ編入シ千葉縣下總國印旛郡豐住村大字田川ヲ右金江津村ニ編入シ千葉縣下總國香取郡金江津村大字平川ノ内下利根川以南ヲ千葉縣下總國香取郡高岡村ニ編入ス

六 千葉縣下總國香取郡十倉島村ヲ茨城縣常陸國稻敷郡ニ編入シ千葉縣下總國香取郡神崎町大字小松ノ内大字神崎神宿ノ内大字神崎本宿ノ内大字今ノ内下利根川以北及千葉縣下總國香取郡本新島村大字野間谷原ノ内下利根川以北ヲ右十倉島村ニ編入ス

七 千葉縣下總國香取郡本新島村下利根川ヲ茨城縣常陸國稻敷郡ニ編入シ千葉縣下總國香取郡新島村大字八筋川ノ内大字境島ノ内大字大島ノ内大字三島ノ内横利根川以西及千葉縣下總國香取郡佐原町大字佐原ノ内横利根川以西ヲ右本新島村ニ編入シ千葉縣下總國香取郡本新島村大字川尻大字大戸新田及大字野間谷原ノ内大字石納ノ内大字飯島ノ内下利根川以南ヲ千葉縣下總國香取郡東大戸村ニ編入ス

八 茨城縣下總國猿島郡中川村大字長谷ノ内大字小山ノ内中利根川以南ヲ千葉縣下總國東葛飾郡水間ヶ瀬村ニ編入シ茨城縣下總國猿島郡中川村大字建打ノ内中利根川以南ヲ千葉縣下總國東葛飾郡川間村ニ編入ス

九 茨城縣下總國北相馬郡稻戸井村大字稻ノ内中利根川以南及茨城縣下總國北相馬郡取手町大字取手ノ内中利根川以南ヲ千葉縣下總國東葛飾郡我孫子町ニ編入ス

第二條 此ノ法律施行ノ爲縣ノ財産處分ヲ要スルトキハ關係アル縣參事會ノ意見ヲ聞キ内務大臣之ヲ定メ郡ノ財産處分ヲ要スルトキハ關係アル郡參事會及縣參事會ノ意見ヲ聞キ縣知事協議ノ上之ヲ定ム若シ協議整ハサルトキハ内務大臣ノ裁定ヲ請フヘシ

第三條 現任衆議院議員及縣會議員ハ此ノ法律ニ依レル縣境界變更ノ爲ニ其ノ議員タル資格ヲ失フコトナシ但シ千葉縣會議員ニシテ住居ノ茨城縣ニ移リ茨城縣會議員ニシテ住居ノ千葉縣ニ移ル者ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 衆議院議員及縣會議員ノ選舉及被選舉資格中其ノ年限ニ關スルモ
ノハ此ノ法律ニ依レル縣境界變更ノ爲ニ中斷セラルコトナシ
第五條 此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス
(政府委員松平正直君演壇ニ登ル)

○政府委員(松平正直君) 此千葉縣茨城縣境界變更ノ法律案 是ハ追々議院
ニ現レマシタ問題デ皆サン御承知モアラウト存ジマスガ、行政上千葉ト茨城
ノ境ガ、犬牙錯綜シテ水利上ニハ甚ダ不便ヲ感ジマス、又行政上ニモ甚ダ不
便ヲ感ジマス、事實是ハ互ニ犬牙錯綜シタモノハ各其地形ノ宜シキニ從フ
テ組換フ致シマスガ誠ニ此縣治上ニ於キマシテモ亦水利上ニ於キマシテモ甚
ダ將來ノ大ニ便利ヲ得ルト云フ所ヨリ屢、此議場ニ現レマシタ、其
意見ヲモ亦參酌ヲ致シテ今般提出ニナリマシタ次第デゴザイマスカラドウカ
一ツ御協賛アツテ數年ノ此種々ノ混雜ノアリマスノヲ此法律ノタメニ解釋シ
得ラレマスルヤウニ致シタイト云フ精神デ此案ヲ提出ニナリマシタ、ドウゾ
宜シク御協賛アルヤウニ希望致シマス

○子爵小笠原壽長君 本員ハ此案ニ就キマシテ政府委員ニ質問致シマス、此
法案ハ此前ノ議會ノ時分ニ衆議院カラ當院ニ提出ニナリマシタ案デゴザイマ
ス、ソレデ其衆議院カラ當院ニ出マシタ際ハ千葉縣又茨城縣カラ非常ナ運動
委員ガ出テ居リマシテ贊成ヲシロ反對ヲシロト言フテナカ、運動ノ烈シカッ
タ事件デアリマス、ソレデ是ガ當院ノ議場ニ上リマシタ時分ニ本員ハ政府委
員ニ質問ヲ致シマシタ、然リマスル所ガ當時ノ政府委員ノ御答ヲ播擧ンデ御
話ヲ致シマスレバ、先ヅ一口ニ云ヘバ政府ハドウナツテモ構ハナイト云フヤ
ウナ御答辯デアリマシタ、ソレデ私ハ境界ノ變更ノ如キハ縣治上ニモ大關係
ヲ持チマス譯デアリマスカラ、是ハ政府ニ於テ十分ニ御取調ニナツテ是非此
法案ノ通ニナラナケレバナラヌ譯合デアリマスナラバ政府ヨリ御提出ニナッ
タ方ガ宜カラウト云フ考デ本員ハ衆議院カラ出マシタ案ニハ當時反對ヲ致シ
マシタ、然リマスル所ガ當院ニ於キマシテモ衆議院カラ出マシタ案ハ否決ニ
ナリマシタ、然ルニ今般ハ政府カラ此案ガ出テ參リマシタ、尤モ境界ノ變更ノ
區域ガ大分違ッテ居ルヤウニハ考ヘマスガ政府デモ之ヲ御出シニナリマスル
以上ハ十分利害得失ヲ御研究ニナツタ上デ此案ガ出タトハ考ヘマスルガ斯
ウナツテモ千葉縣ニモ茨城縣ニモ少モ苦情ハナイノデアリマスガ、其邊ヲ一
ツ本員ハ確メタウゴザイマス

○政府委員(松平正直君) 御尋ノ儀ハ御尤デゴザイマス、千葉縣デ望ム通ニ
シテハ茨城縣デ満足セズ、茨城縣ノ望ム通ニシテモ千葉縣デ満足セヌト云フ
ハ斯ウ云フ土地ノ境界ノ論ニナルトサウ云フコトハ是ハ已ムヲ得ヌノデゴザ
イマス、ソコデ政府ニ於テハ水利上ノ問題ヲ考ヘ出來得ル限ハ餘リ大變更ヲ
セズ大ナル物議ヲ惹起ス如キ變更ヲ避ケテ出來得ル限ニ依ッテ宜シキヲ制
シタト云フ見込デアリマスカラ多少ノ物議ハナイトハ御請合ハ出來マセヌ
ガ、是デ法律トナツテ出マシタナラバ其多少ノ物議モ何時シカ事實ノ便ヲ得ル

ニ伴フテ消散スルデアラウト云フ目的デゴザイマス、ソレダケノコトデゴザ
イマスカラ其邊ハ御懸念ナク御贊同ヲ冀望スル次第デゴザイマス
○男爵船越衛君 唯今小笠原子爵カラ御質問デゴザイマシタガ私モアノ如ク
尋ネタカツタ、ソレダケハ分リマシタガ、此理由ニ「利根川改修工事ニ關スル
調査ノ結果ニ依レハ現今ノ河狀ニ據リ兩縣ノ境界ヲ劃定スルモ他日再ヒ該境
界ノ變更ヲ行ハサルヲ得サルカ如キ虞ナキヲ認メ」云々是デ見ルト云フト兩
縣ノ境界ガマダ能ク定ッテ居ラヌ、ソレ故此所デ劃定シヤウト云フヤウナ意
味ニナツテ居リマスガ、茨城縣千葉縣ノ境界ハ定ッテ居ラヌノデゴザイマス
カ、ドウモサウ云フヤウニ見エマスカラ御尋致シマス

(政府委員深野二三君演壇ニ登ル)

○政府委員(深野二三君) 唯今ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、少シ聽取レマセ
ヌデゴザイマシタガ、唯今ノ御質問ハ現今ノ千葉縣兩縣ノ境界ハ定ッテ居
ラナイカト云ウヤウナ御問ニ聽キマシタガ左様デゴザイマス
○男爵船越衛君 此理由書ニ依ルト定ッテ居マセヌヤウニ思ハレルデ質問致
スノデ此四行目五行目ノ所ニ「現今ノ河狀ニ據リ兩縣ノ境界ヲ劃定スルモ他
日再ヒ該境界ノ變更ヲ行ハサルヲ得サルカ如キ」云々トアリマス、今此處デ兩
縣ノ境界ヲ劃定スルト云フ……劃定ニナリテ居ラヌカラ劃定スルト云フヤウ
ニ理由書ニ書イテアルノデ、サウスルトアノ邊ニマダ何處カ境界ノ定ラヌ所
ガアルカト云フコトデ御尋スルノデアリマス

○政府委員(深野二三君) 成ル程文字カラ申シマシタナラバ或ハサウ云フ解
釋モアルカ知リマセヌガ、此兩縣ノ境界ヲ劃定スルト云フコトヲ此處ニ書キ
マシタノハ甚ダ錯雜ヲシテ居リマスカラ利根川ヲ中心トシテ兩岸ヲ……南ノ
方ハ千葉縣ノ管轄トシ北ノ方ヲ茨城縣ノ管轄ト立派ニ此處デ利根川ヲ中心
トシテ劃定スルト云フコトヲ意味シタ文字デアアルノデゴザイマス、此ノ如ク
致シマシタモ他日再ヒ境界ノ變更ヲ行ハネバナラヌト云フヤウナ虞ハナイト
斯ウ云フ意味デ書キマシタノデアリマス、ソレデ此利根川改修工事ニ就キマ
シテ河身ノ動クコトヲ今日マデ政府ハ心配シテ居リマシタ所ガ段々調査ノ結
果ガ利根川ヲ中心トシテ劃定シテモ他日河身改修ノタメニ關係ヲ有スルコト
ハナイト云フコトヲ認メマシタノデ此案ヲ提出致シタノデゴザイマス、ドウ
ゾ左様御承知ヲ願ヒマス

○男爵船越衛君 アナタノ仰シヤルノハ分リマシタガ私ハサウハ思ハレヌガ
是ハ議論ニナルカラ是デ止メテ置キマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御發議ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案
ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○子爵高野宗順君 本案ノ特別委員モ議長ニ於テ選定アラントヲ冀望致シ
マス

○男爵中川與長君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 是レ亦議長ニ委託ノ動議が出マシタ、御異議ガナクバ……

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 本日ノ議事ハ是ニテ了リマシタ、唯今御委託ニナリマシタ委員ノ氏名ヲ御報道ニ及ビマス

(太田書記官長朗讀)

軍機保護法案外一件特別委員

子爵谷 干 城君 子爵曾我 祐準君

男爵小澤 武雄君 男爵赤松 則良君

村田 保君 高島 信茂君

官吏遺族扶助法中改正法律案特別委員

子爵岡部 長職君 子爵松平 乘承君

男爵鍋島 幹君 男爵船越 衛君

森山 茂君 山中 幸義君

千葉縣茨城縣境界變更法律案特別委員

公爵久我 通久君 伯爵正親町 實正君

渡邊 洪基君 男爵石田 英吉君

久保田 讓君 谷森 眞男君

○議長(公爵近衛篤磨君) 今日ハ散會
午前十時四十八分散會

三好 退藏君

名村 泰藏君

男爵有地 品之允君

松岡 康毅君

男爵紀 俊秀君

山田 卓介君

加藤 弘之君

時任 爲基君

古市 公威君